

川崎克 かわさき かつひさ 政治家。明治十二年十一月二重縣生れ、昭和二十四年二月二日歿（八八〇一九九）。流克堂、鉄栗庵。明治二十四年日本法律學校卒。伊賀の郡役所書記、新聞記者等を経て尾崎行雄に就き、憲政擁護運動に参加。大正四年衆議院議員（當選十回）。陸軍省・逓信省各參與官、司法政務次官等歴任。昭和十六年大政翼賛會の政治活動を違憲として批判、翌年の翼賛選挙は非推薦で當選した。伊賀焼の研究家としても知られた。



著書に『世運は生くる』(昭和十七年十一月十五日二重・伊賀文化産業協會)がある。